

第5章第1節 5. 公共交通機関、歩行空間等のバリアフリー化の推進

／国土交通省

TOPICS

バス・タクシー・航空のバリアフリー化

乗合バスにおけるノンステップバス比率については、2019年度末で61.2%であったところ、2020年度末では63.8%となり、また、空港アクセスバスについては、羽田空港・成田空港・関西国際空港・新千歳空港等を結ぶ路線において、エレベーター式を含むリフト付きバスを運行するなど、バリアフリー化が進んでいるところである。一方で、空港アクセスバスにおいて、1日当たりの平均的な利用者数が2,000人以上で鉄軌道アクセスのない空港への路線の運行系統の総数の約50%について、バリアフリー化した車両を含む運行とすることや、タクシーにおいて、各都道府県における総車両数の約25%について、UDタクシー（ユニバーサルデザインタクシー：身体に障害のある人のほか、高齢者や妊産婦、子供連れの人等、様々な人が利用できる構造を持ち、流し営業にも活用できるタクシー車両）とすることを新たな目標として設定するなど、引き続き、バス・タクシーにおけるバリアフリー車両の導入を促進していくこととしている。

2017年10月から2021年11月まで交付をした東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会特別仕様ナンバープレートにおける寄付金の活用によるバス・タクシー車両のバリアフリー化の推進を行った。

空港のバリアフリー化については、成田空港、羽田空港等において、2016年度に設定したエレベーターの増設やトイレの機能分散等の数値目標に基づく取組を推進し、2021年度中に数値目標を達成した。今後も各空港においてさらなるバリアフリー化の取組を推進していくこととしている。

ノンステップバス



空港アクセスバス

リフト付きバス



エレベーター式リフト付きバス



UDタクシー



各空港のバリアフリー化

(2021年度現在)

主な取り組み	成田		羽田(国際)		羽田(国内)	
	目標	進捗状況	目標	進捗状況	目標	進捗状況
トイレのフラッシュライト整備	100%設置	完了 (146/146箇所)	100%設置	完了 (57/57箇所)	多機能トイレに100%設置	完了 T1(22/22箇所) T2(29/29箇所)
多機能トイレ又はトイレ機能の分散化	男女別複数設置(主要動線上)	完了 (11/11箇所)	男女別複数設置(主要動線上)	完了 (16/16箇所)	男女別複数設置(主要動線上)	完了 T1(2/2箇所) T2対応済
その他取り組み	エレベーターの7台増設,3台改修	完了	エレベーターの22台増設	完了	-	-
	固定橋エレベーターの18台新設	完了 (18/18台)	ステップレス搭乗橋の11台増設	完了	-	-

※T1…ターミナル1 T2…ターミナル2

手で見るフロアマップ



改訂コミュニケーションシート



第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

参考資料